

Work Work News

わ・く・わ・くニュース

神戸障がい者就労支援通信

R3年度2号

発行：令和3年12月

神戸市福祉局障害福祉課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

TEL:078-322-5228 FAX:078-322-6044

神戸市広報印刷物登録

令和3年度 第187号-2 (広報印刷物規格B-1類)

就労移行支援事業所訪問！ ハンズ三宮

就労移行支援事業所は、一般企業等への就労を希望する障がいのある方（原則65歳未満の方）が、就労に必要な知識や能力の向上のために訓練を行うところです。神戸市内には33か所の就労移行支援事業所があります。今回は、その中で中央区にあるハンズ三宮を訪ねました。

自己紹介

ハンズ三宮は、2013年秋に三宮の地に開所、以来8年目に入っています。「障がいのある方が、自分にあった就労で自立への一歩を踏み出し、生き生きとした人生を送ってほしい」という思いを胸に支援を行っています。



濱崎センター長

一日の流れについて教えてください

通常は10-15時（月-金、土は午前のみ）が訓練時間ですが、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、午前午後2部制にしています。10時に朝礼が始まります。その後、1コマ45分の訓練が2つで午前は終了。午後は13時から、2コマの訓練を終えた後、清掃と終礼をします。



具体的な訓練内容についてお聞かせください

①パソコン（タイピングから各種検定まで）②コミュニケーション（SSTなど）③軽作業（事務や手作業のスキル）④社会性を身につける（社会人としてのマナーなど）…この4つが訓練の柱です。これらは、互いに関連性を持っていて、例えば、せっかく、パソコンや軽作業のスキルがあっても、報告・連絡・相談ができれば、職場で支障が出てしまいます。コミュニケー

ションや社会性も伴って初めて、職場での仕事がスムーズに行えるのです。

特に力を入れているサポートは？

ハンズ三宮では、専任の担当職員が利用開始から継続してサポートを行います。目標設定後、訓練が始まり、課題が出て来るとその優先順位を一緒に考えます。就職が決まった後も、職場定着までしっかりサポートします。



支援員の皆さん

利用者の方に聞きました

田中敬一さん（47歳）

利用期間：1年9か月

Q. ハンズ三宮に決めた理由は？

A. 学校の先生と生徒のような垣根が職員との間に感じられなかったのだ。

Q. どのようなサポートを期待していますか？

A. 職場実習、支援機関との連携、定着支援です。

Q. どのような職業に就きたいと思っていますか？

A. 業種や職種にこだわりはありません。自力で生計を立てられる仕事、その仕事の内容が障がい者用に限定されていない仕事につきたいです。



※田中さんは現在就労されています。



ハンズ三宮 について

- 所在地 〒651-0088 中央区小野柄通5-1-27 甲南アセット三宮ビル3F
- 連絡先 電話：078-261-9595 FAX：078-261-9595
- 運営主体 株式会社ハンズ <https://hands.hyogo.jp>
- アクセス JR「三ノ宮」、阪急・阪神「神戸三宮」、市営地下鉄「三宮」徒歩5分



会社の方に聞いてみよう!



株式会社すまいるこころ 常務取締役 中澤 真由美 さん

今年度の企業紹介は、保険調剤薬局と福祉用具事業を中心に全国展開している株式会社フロンティアの特例子会社「株式会社すまいるこころ」に訪問し、お話を伺いました。

企業プロフィール

- 企業名 株式会社すまいるこころ
- 認定 平成 28 年 3 月
- 本社所在地 須磨区妙法寺地子田 1035-2
- 事業内容 グループ会社内事業（印刷・封入・発送・在庫管理・事務補助・清掃）、訪問マッサージ事業、製麺事業
- 社員数 23 名（うち障害のある方 19 名）
- 雇用率 2.3%（グループ全体 R3 年 9 月）



障がい者雇用の工夫・配慮について

「それぞれの障がいの違いやスキルに応じた業務ができるような職場環境づくり」を基本としています。当社の柱である親会社からの受託業務は、押印など事務補助的内容から、記念品の仕分け・発送業務、清掃を中心とした環境整備まで多岐に渡っています。その業務の分担や割り当ては、社員個人個人の障がい特性上の得意分野、苦手分野を踏まえ、業務の細分化を行ったうえで配置しています。また、そのことを社員同士がお互いに理解し、協力しあって業務を進められるようにサポートしています。



●本社オフィス



●岩山事務所

障がい者雇用に取り組むきっかけは？

すまいるこころの親会社である「株式会社フロンティア」は、薬局と福祉用具事業を中心に全国 200 ヶ所以上の拠点にて業務を行っています。従来より、障がい者雇用を推進してきましたが、事業特性や職場環境の制約（薬局は少人数・小スペース、福祉用具は、郊外で通勤が難しいなど）により、雇用率を達成できない期間が続いていました。そこで、新たに加わった神戸市須磨区のグループ会社の力を借り、既存の地域に根差した訪問マッサージ事業・製麺事業を継承しながら特例子会社を設立し、本格的に障がい者雇用をスタートさせました。現在では、マッサージ部門 8 名（マッサージ師はすべて国家資格保有者）、製麺部門 2 名、受託部門 9 名、計 19 名の障がいのある社員が働いています。



●製麺所



●贈答用セット

株式会社
すまいるこころ
常務取締役
中澤 真由美 さん



職場への定着の取組みについて

各個人のステップアップを目的として、受託部門では半期に一度、業務の振り返りの機会を作っています。そこで、できたこと、できなかったことを確認し、次の半期の目標を決め取り組むようにしています。さらに、今後は半期毎の実績、本人の希望、意欲などから判断し、パート社員・契約社員から正社員への登用にも力をいれていきます。



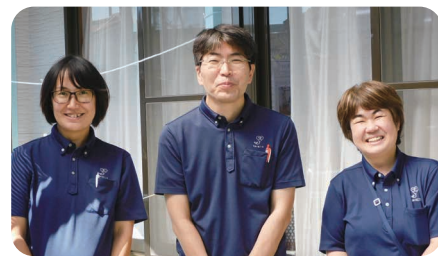
これから就職を考える人に企業の立場からアドバイス

「この先自分はようになっていきたいか」を考えて仕事をしてほしいです。

目標があれば、仕事に対するやる気、意欲がわいてきますし、その気持ちも長く続きます。

例えば、「自分で働いて好きな遊園地に行きたい。」とか、「パソコンを買いたい。」などなんでも良いのです。やりたい気持ちがあれば、つらいことがあっても乗り越えやすくなると思うのです。今までの社員の中には、残念ながら、その時の「しんどさ・つらさ」を

乗り越えることができず、離れてしまった方もいます。会社から見ると、一緒に働くのが楽しみだった方もいて、この機会を活かしてほしいのにと感じる人が多いです。ぜひ、いきいき働く自分の姿をいつも頭に置きながら、仕事をしてみませんか。



指導スタッフの皆さん
(左から佐々木さん、松平さん、神吉さん)

一緒に働く社員の方にお話を伺いました

- ①働くきっかけ
- ②働く前と働いてから変わったこと
- ③就労に向けて利用した機関
- ④働いて困ったこと
- ⑤働いて楽しいところ
- ⑥休日の過ごし方
- ⑦これからの夢
- ⑧これから就職を目指す人へのアドバイス

阿部美幸さん(19歳)
勤続期間：19か月
担当業務：受託部門



東山可奈さん(31歳)
勤続期間：12か月
担当業務：受託部門

- ①支援学校から実習に来たことがきっかけです。
- ②失敗したことについて、その原因を深く考えられるようになりました。
- ③支援学校
- ④業務内容の幅が広いので、仕事の内容を理解して、自分のものにするのが大変でした。
- ⑤仕事に対してやりがいや達成感を感じる時です。
- ⑥好きな雑貨屋さんめぐりをします。また、おいしいスイーツを探すのも楽しみです。
- ⑦相手のことを思った仕事の仕方を心がける人でありたいです。(複数で仕事をするとき、その人が働きやすいように声掛けするなど)
- ⑧社会に出るとコミュニケーションが大切です。特に挨拶は基本です。見慣れない人に対しては戸惑いますが、学生るとき、挨拶は先手必勝だと習ったので、そのように努めています。

- ①以前、関連の会社で働いていたため、会社見学をさせてもらったことがきっかけで、挑戦しようと思いました。
- ②自分の気持ちを伝えるのが苦手でしたが、皆と話しやすい職場だと思ってから、少しできるようになりました。
- ③しごとサポート中部
- ④前職(飲食業)とは全く違った仕事で、やることの種類も多いので困りました。
- ⑤チームで業務を達成してゆくの楽しいです。
- ⑥基本は家にいることが好きですが、最近、ガチャガチャにはまっています。
- ⑦仕事を通じて自立し、いずれはひとり暮らしもしてみたいです。
- ⑧どの仕事に就いても、会社の人みんな優しいので心配しないで頑張ってください。

「ふれあい商品」について

神戸市では、障がいのある方が利用する福祉事業所で作られているお菓子や雑貨小物など様々な自主製品を「ふれあい商品」として取り上げ、広く市民の皆様にご案内しています。今回は、その中から、福祉事業所だからこその工夫の小物にスポットを当て、3つの事業所をご紹介します。購入場所もチェックしてくださいね。
 (※下記の表示価格はすべて税込み。サイズの表示はW(幅)×H(高さ)×D(奥行)、単位はm/mです)

北市場音楽堂(きたいちばおんがくどう)

板宿商店街の「北市場音楽堂」は、自らもマリンバ奏者の理事長が、「音楽を福祉の役に立てたい」との思いで名付けられました。近年、着物地はドレスとしても注目されており、その生地を再利用したカバンなど小物の製作は、13名の利用者の方が担当しています。生地回収・洗濯・乾燥・アイロン・裁断、そして縫製まで全30工程を一貫して行います。



- ① 小銭入れ ¥200 (W120×H90)
- ② リボンカバン ¥1,500 (W320×H190×D120)
- ③ パッチワークカバン ¥1,000 (W370×H290)



お問い合わせ

北市場音楽堂

就労継続支援B型事業所(運営主体 NPO法人音楽堂)
 住 所: 須磨区飛松町2-3-11(板宿商店街北市場内)
 Tel:078-201-5728 Fax:078-202-2032 (担当:牧島)

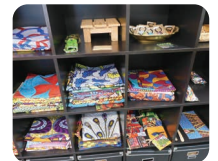
PROFILE

バオバブ

バオバブの開所は2014年6月、始まりはスパイスカレーのセットでした。利用者の方の中にミシンの熟練者がいたので、その人を中心にアフリカン柄の布を仕入れて、小物の製作を始めました。現在では、パンツやスカートのオーダーまで受けています。大柄なアフリカン柄の布は裁断の場所によって柄の出方が全く変わり、バリエーション豊富なのが魅力です。



- ① バオバブバッグ ¥5,940
 左:斜めがけ用 / (H750×W500×D250)
 右:肩がけ用 / (H520×W500×D250)
- ② 巾着袋 ¥2,200 (H260×W230×D140)
- ③ スパイスカレーセット(4人分)「ご家庭で本格的なカレーを!」
 チキンカレー ¥400 / キーマカレー ¥430



お問い合わせ

バオバブ

就労継続支援A型事業所(運営主体 株式会社バオバブ)
 住 所: 中央区北長狭通り5-5-22 薔薇屋ビル2F
 Tel:078-595-9696 Fax:078-595-9697 (担当:林)
 ※2号店は、中央区三宮町3-4-1(大丸近く)

PROFILE

アンコラージュ

アンコラージュは、2017年から羊毛フェルトの製作を開始しました。その後、六甲山牧場から仕入れたKOBE WOOLの原毛を使ったフェルト雑貨を考案し、mof mofという商標を打ち出しました。この度、神戸市の「商品力向上支援制度」を活用し、更なるオリジナリティを追求し、フェルトの草木染めにも取り組みました。



- ① 写真上: スキレットハンドル ¥1,500 写真下: OD缶カバー ¥3,000
- ② コースター1枚 ¥900
- ③ チョークボール(クライミング用) ¥700

お問い合わせ

アンコラージュ

就労継続支援B型事業所 福祉事業型「職業訓練校」カレッジ・アンコラージュ
 住 所: 長田区大橋町5-3-1 アスタプラザイースト211号
 Tel:078-642-4280 Fax:078-642-4281 (担当:宮野)

PROFILE